

神奈川・山梨・静岡
南関東3県の防衛広報紙

南関東防衛局
防衛省
MINISTRY OF
DEFENSE

南関防衛

平成25年
創刊号

平成25年秋号 年4回発行 創刊号

特集 護衛艦「いずも」命名・進水式
横須賀日米交流防災フェア／相模原市総合防災訓練



旧広報紙「よこはま」
リニューアル創刊号

日本丸／横浜市

護衛艦「いずも」命名・進水式



■海自史上最大級

「いずも」は平成22年度契約の新型艦で、全長248メートル、基準排水量1万9500トンの海上自衛隊史上最大級のヘリコプター搭載護衛艦です。

8月6日に行われた命名・進水式には、来賓として麻生副総理大臣はじめ、石破元防衛庁長官、山田賢司衆議院議員らを迎えました。

また、防衛省からは江渡防衛副大臣（当時）、河野海上幕僚長、武居横須賀地方総監、丸井南関東防衛局長ほか、多数の関係者が参加しました。

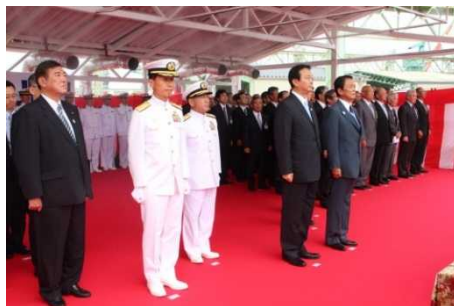
そのほか、会社関係者等約3500人が見守る中、新造艦は「いずも」と命名され、麻生副総理大臣と江渡防衛副大臣の支綱切断により進水しました。

8月6日、ジャパンマリンユナイテッド株式会社（JMU）横浜事業所磯子工場において護衛艦「いずも」の命名・進水式が行われました。
南関東防衛局では管内で製造される装備品の検査・監督を行っており、丸井局長ほか関係者が式典に参加しました。

■洋上の医療拠点にも

護衛艦「いずも」は、「ひゆうが」、「いせ」の発展型として、船体の大型化を図り、航空機の運用機能や大規模災害対応能力などが強化されています。

例えば、潜水艦を探知する哨戒ヘリコプターを7機、救難・輸送ヘリコプターは2機搭載することが可能で、大型サイド



A

「進水」とは、建造中の船を初めて水に浮かべる作業を言います。これは船の建造においてとても重要な作業です。同時に、その船の就役後の航海の無事や乗員の安全を祈願する儀式として古くから「進水式」が行われてきました。

通常、その船に命名を行ってから進水させます。防衛省が発注した艦船の場合は、「命名・進水式」として実施しています。

1 命名・進水式では、まず国歌が吹奏され、国旗が掲揚されます。続いて防衛大臣により命名が行われます。防衛大臣が欠席の場合は、代理者が防衛大臣の命名書を読み上げます。次に「支綱（しこう）」と呼ばれる綱が斧で切断され、日本酒などの樽とくす玉が割られ、進水します。

2 進水の方法

進水の方法は船の大きさや造船所の建造施設、ノウハウなどにより様々な方式がありますが、代表的な方式を3つ紹介します。

① 滑走進水

海に向かって傾斜した船台上をワックスなどですべらせて進水する方式です。

② 船渠（ドック）進水

ドック内で建造した船を、ドックに注水することで浮上させ進水させる方式です。今回の「いずも」の進水はこの方式です。

③ 吊り下げ進水

船台上で建造した船をクレーンなどで吊り下げて海に降ろし進水させる方式です。

当局管内で過去に実施された命名・進水式



平成22年10月25日
掃海艇「えのしま」

ユニバーサル造船京浜事業所（現JMU鶴見工場）



平成19年8月23日
護衛艦「ひゅうが」

IHIマリンユナイテッド横浜工場（現JMU磯子工場）



平成19年5月24日
多用途支援艦「げんかい」

ユニバーサル造船京浜事業所（現JMU鶴見工場）

護衛艦「いずも」主要目

全長248メートル、最大幅38メートル、深さ23・5メートル、喫水7・1メートル、主機ガスタービン4基2軸（COGAG型式）、軸馬力11万2000馬力、速力約30ノット。搭載する武器等は、高性能20ミリ機関砲2基、対艦ミサイル防御装置2基、魚雷防御装置1式、哨戒ヘリコプター7機、救難・輸送ヘリコプター2機。乗員数約520名。



麻生副総理、江渡防衛副大臣による支綱切断

「いずも」は平成24年1月に起工しました。これから艦内の装備などの工事（艤装）を行った後、平成27年3月に就役する予定です。

■平成27年3月就役

ランプ（扉）を使い、陸上自衛隊の3・5トン型トラックを約50両搭載するなど、高速の輸送艦、補給艦の機能も加わっています。また、艦内には手術室、医療用ベッドなどの医療設備を備えているため、災害時にはヘリコプターで運ばれた患者の治療を行う洋上の医療拠点の役割を担うことが可能です。

地方協力確保事務

防衛行政に対する地域の理解と協力を得るためのさまざまな施策を実施しています

横須賀日米交流防災フェア

8月3日(土)、米海軍横須賀基地を一般開放する「ヨコスカフレンドシップデー」に合わせ、南関東防衛局主催の「日米交流防災フェア」が開催されました。

日米交流防災フェアは、在日米海軍及び横須賀市の防災対策の一端を紹介することで、米軍人や横須賀市民の防災意識を高め、更なる地域交流の促進を図ることを目的としています。

当日は、米海軍横須賀基地司令部、横須賀市消防局及び自衛隊横須賀病院の協力のもと、日米の消防車両の展示や起震車、煙体験ハウス、AED体験コーナーなどが設けられ、南関東防衛局からは、非常食・防災グッズの配布や平成25年版防衛白書(ダイジェスト版)の配布を行うなど、盛りだくさんの内容でした。

来場者からは、「日米の協力関係がより深まり良いと思う」、「普段は体験できないので良い経験になった」という声が寄せられました。



行列ができた起震車 (在日米海軍消防隊)



セレモニーで挨拶する丸井局長(左)
吉田横須賀市長(中央)
オーウェン横須賀基地司令官(当時)(右)



防災フェア会場の一コマ



煙体験ハウス (横須賀市消防局)



南関東防衛局の広報ブース

平成25年度 相模原市総合防災訓練

9月1日(日)、在日米陸軍相模原総合補給廠を主会場に、消防や警察に加え、自衛隊や米軍など121機関、参観者を含め約5千人が参加する総合防災訓練が行われ、南関東防衛局からは丸井局長が参観しました。

訓練は、大規模地震発生時における迅速かつ円滑な災害応急対策の実施や市民の防災意識の高揚を目的としたもので、平成26年度に政府と連携した大規模な訓練となる「第35回九都県市合同防災訓練」の事前訓練として、従来の訓練の内容、規模を拡充して行われました。

相模原市と在日米陸軍基地管理本部との間では、災害時の相互支援に関する覚書を締結しており、大規模災害が発生した際に相互で行う物資の提供、応急医療・人命救助措置、消防などの支援について合意されています。

南関東防衛局は、災害準備や災害対応のための相模原総合補給廠への立入りが実現できるように調整等を行いました。



走行不能車両からの救助活動 (陸上自衛隊第4施設群)

富士総合火力演習

毎年恒例の富士総合火力演習が、8月25日、静岡県東富士演習場で行われ、あいにくの雨天の中、3万人近い見学者が来場しました。

降雨のため、予定されていた航空自衛隊F2戦闘機、海上自衛隊P3C哨戒機の飛行や、空挺団員による空挺降下などは中止となりましたが、戦車や火炮を用いた迫力ある戦闘の様子が展示されました。



富士総合火力演習は一般公開されています。応募ハガキによる抽選となりますが、一度是非ご来場頂き、自衛隊による「日本を守る力」を実感して下さい。

詳しくは、陸上自衛隊ホームページの以下のURLまで。

http://www.mod.go.jp/gsdf/event/fire_power/fire_power_25.html

第21回防衛問題セミナー



(写真上から)丸井局長、鈴木副市長、坂間2等陸佐、松沢研究員

7月9日(火)、横浜市の開港記念会館において、第21回防衛問題セミナーが開催されました。今回のセミナーでは、第5回アフリカ開発会議が横浜市で開催されたことになんて「アフリカにおける国際平和協力活動」をテーマとして、アフリカにおける国際平和協力活動を身近に感じていただくことを目的として開催されました。

開会に先立ち主催者である丸井南関東防衛局長が挨拶し、続いて来賓を代表し鈴木横浜市副市長から挨拶をいただきました。講演では、南スーダンPKOに第1次派遣施設隊長長として派遣された坂間2等陸佐が現地での活動状況を紹介、続いて内閣府国際平和協力本部事務局の松沢研究員が国連PKOの任務や直面する課題等について講演しました。

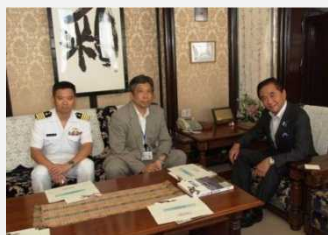
松沢講師からは伝統的PKOから多機能化するPKOの現状とご自身の研究分野である人権をテーマとして、多機能型PKOにおける人権保護の任務遂行にあたっての課題などについて講演をいただきました。当日は約200名の聴講者が来場し、お二人の講演内容を熱心に聞き入っていました。

坂間2佐からは現地における過酷な気象条件下で活動する厳しさや、第1次派遣隊として活動の基礎となる宿営地の設営など、すべてゼロからのスタートとなった第1次派遣隊ならではの苦労など、DVDによる映像を交えながら分かりやすく講演していただきました。



<http://www.mod.go.jp/j/publication/wp/index.html>

●平成25年版防衛白書
平成25年版防衛白書が7月に公表されました。今年の防衛白書は、一層厳しさを増す日本周辺の安全保障環境や、それに対して、国民の生命・財産と日本の領土・領海・領空を断固として守り抜くため防衛省・自衛隊が行っている広範多岐に渡る取組について、より多くの方々に分かり易くお伝えできるようにコラムや図表を充実させながら作成しています。



黒岩神奈川県知事に対する白書説明 (8月28日)

また、より多くの方に防衛白書を読んで頂けるよう、電子版書籍、ダイジェスト部分のスマートフォン版を提供しています。詳しくは左上、防衛省ホームページのURLまで。



消防による一斉放水と陸自ヘリ(東部方面航空隊)による散水活動



在日米陸軍ヘリによる救援物資の搬入

●在日米陸・海軍司令官交代

8月6日、米陸軍施設キャンプ座間において、米太平洋陸軍司令官ビンセント・ブルックス大將らの立ち会いの下、ジェームズ・ブーザー陸軍少將の在日米陸軍司令官就任式が行われました。

ブーザー少將はサウスカロライナ州チャールストンの出身で1980年に陸軍士官学校を卒業し、幹部として33年間様々な任務を歴任。今年6月に在日米陸軍司令官に就任しました。



ブルックス米太平洋陸軍司令官(左)
ブーザー新在日米陸軍司令官(右)

また、8月に在日米海軍司令官に就任したテリー・クラフト少將が9月10日、南関東防衛局に来訪し、丸井局長以下関係者と懇談の場を持ちました。

クラフト少將は1981年に海軍士官学校を卒業した後、米海軍に勤務。米国内外での様々な任務を歴任してきました。空母艦載機のベテランパイロットでもあります。



局長室にて懇談の場を持つ丸井局長(右)とクラフト少將(左)。今後とも緊密に連携していくことを確認しました。

●夜間巡回パトロール

7月19日、神奈川県横須賀市の繁華街で地元町内会、神奈川県、横須賀市、米海軍横須賀基地、ガーディアン・エンジェルズ(各地でパトロールを実施するNPO)、横須賀警察署、海上自衛隊横須賀地方隊及び南関東防衛局が参加して夜間巡回パトロールが行われました。



街の犯罪防止や美化を目的に平成6年10月から始まったこのパトロールは今回で207回目となり、吉田横須賀市長、オーウェン横須賀米海軍基地司令官(当時)、丸井南関東防衛局長も参加しました。

●米海兵隊による海岸清掃

キャンプ富士(御殿場市中畑)所属の米海兵隊員が、沼津海浜訓練場(沼津市今沢)一帯の海岸で清掃活動を行いました。



晴天で猛暑となった8月15日の午前10時前に到着したカステイク司令官以下40数名の海兵隊員は、炎天下での作業に備え日焼け防止クリームを塗るなどの準備の後、約2時間をわたって海岸に流れ着いたビニール、プラスチック、空き瓶、空き缶などのゴミを拾い集め、海岸の美化に貢献しました。

キャンプ富士所属の米海兵隊による今沢海岸の清掃活動は1990年以降20年以上にわたり毎年行われています。

●優秀工事の顕彰

南関東防衛局では、7月1日、平成24年度に完成した建設工事の受注5社に対し、鶴田調達部長から顕彰状を贈呈しました。

優秀工事の顕彰は、建設工事において、工事目的物の出来形及び品質に優れているものであって、他の模範とするにふさわしいものを優秀工事として顕彰し、入札参加者の受注意欲を高め、かつ品質確保を図るなど、施設取得の円滑な推進に資することを目的として実施しているものです。



前列右から、鶴田調達部長、五洋建設(株)、岩田地崎建設(株)、奈良造園土木(株)、扶桑電機(株)、(株)イノワタ、宮崎調達部次長 ※敬称略

■着任インタビュー
南関東防衛局長 丸井 博



丸井 博(まるい ひろし)

- 昭和34年生まれ
- 県立船橋高校出身
- 東京大学経済学部卒
- 昭和58年
防衛庁(当時)入庁
- 平成23年 8月
内閣官房内閣情報調査室
内閣衛星情報センター 管理部長
- 平成25年 7月
現職

7月1日の異動で着任した丸井新局長に、自己紹介を兼ねてこれからの抱負などについて聞いてみました。

Q 7月1日に着任されました。簡単に自己紹介をお願いします。

A 出身は千葉県で、高校は県立船橋高校です。高校時代は、テニス部に入っていました。ただ、最近は運動は近くを散歩する程度で、テニスもしばらくやっていません。

安全保障問題に関心があつたこと、防衛庁(当時)は他省庁に比べると若い役所で将来性がありそうだと考え、昭和58年に防衛庁に入りました。

Q 防衛庁に入庁されてから、どのような業務に携わってこられたのでしょうか。

A 入庁以降様々な業務に携わってきましたが、印象に残っているのは、戦闘機の日米共同開発問題や海上自衛隊の防衛力整備、情報本部の設立などに携わったことでしょうか。

また、基地問題としては、普天間飛行場の移設・返還、在沖繩海兵隊のグアム移転を担当しました。

Q 南関東防衛局に着任して3ヶ月程が経ちましたが、いかがですか。

A 南関東防衛局は、防衛省の地方支部局として、自衛隊、在日米軍と地方公共団体や地域住民の皆さまを繋ぐパイプ役という重要な役割を担っています。

防衛省・自衛隊の色々な施策を円滑、効果的に行うためには地域の皆さまの理解と協力を得ることが重要だと思っております。

その仕事のひとつに、防衛政策の広報もあり、「防衛問題セミナー」を開催したり、最近では7月に発刊された防衛白書の説明で各自治体を訪問しています。また、本紙のような広報紙を通じて幅広い理解を得られればと願っています。

Q 最後に、座右の銘について教えてください。

A 最近思うのは、いろいろと考えて悩むよりも、まずは行動すること。それでうまく行かないときは修正すればいい。自分出来ることを全てやりきって、結果は天に任せる。そういう意味で「Let it be」が座右の銘です。

南
関
東
防
衛
局

案内

堅い役所と思われるがちな防衛局ですが、意外にもスポーツが盛んで、特にサッカーチームは横浜2部リーグで熱い闘いを繰り広げています。9月に横浜市長浜公園でリーグ戦があると聞きつけ、取材に行きました。

南関東防衛局職員が中心となって結成しているサッカーチームは「馬車道FC」、対戦チームからは「はしやみちさん」と呼ばれています。今回の試合相手はN.T.Tチーム、横浜2部リーグの強豪です。馬車道FCメンバーは試合1時間前に集合して早速アップを開始しました。



聞くと普段の集合練習はなく、試合前の練習で連携を確認する程度だそうです。一抹の不安を感じたものの、いざ試合が始まると普段とは別人のような激しい動きで相手ゴールに迫ります。

しかしながら強豪の壁は高く、後半1点を返したものの、1-5で負けました。やはり集合練習は必要かもしれないですね。



掲 示 板

南関東防衛局、管内の自衛隊、関係機関、在日米軍の
広報イベントなどについてお知らせします

10月	(イベント名)	(場 所)	(問い合わせ先)
14日(月)	横須賀音楽隊 吹奏楽発祥百四十四年 記念演奏会	本牧山妙香寺 本堂	公益社団法人日本吹奏楽指導 者協会事務局 Tel 03-5275-5618
20日(日)	エア・フェスタ浜松 2013	航空自衛隊 浜松基地	第一航空団司令部広報班 Tel 053-472-1111 内線3313
20日(日)	みこしパレード	在日米海軍 横須賀基地	横須賀市コールセンター Tel 046-822-2500
26日(土)	日米交流スポーツフェスタ	大和市引地川公園 ゆとりの森・綾瀬 スポーツ公園	南関東防衛局地方調整課 Tel 045-211-7102
11月			
16日(土) 17日(日)	防衛大学校 第61回開校記念祭	防衛大学校 (横須賀市走水)	防衛大学校 Tel 046-841-3810 (代表)
12月			
14日(土)	航空中央音楽隊演奏会	コラニー 文化ホール	山梨地方協力本部 Tel 055-253-1591(代表)

編集後記

旧横浜防衛施設局が改編され、現南関東防衛局になったのは平成19年度のことです。以来、本紙名称「よこまは」を改名するべきか折に触れ検討されてきましたが、今般、部外広報紙として紙面を全面リニューアルするのに合わせ、長年親しまれてきた「よこはま」も「南関東防衛」として生まれ変わる事となりました。

まだまだ試行錯誤の部分もありますが、「南関東防衛」の名前のとおり、南関東3県(神奈川、山梨、静岡)の地域に関する防衛情報を分かり易く発信していきます。また、普段接する機会の少ない日本の安全保障、防衛に関する話題も地域の皆様に分かり易く伝えていきたいと思っております。引き続きご愛読頂けますようお願い申し上げます。

南関東防衛局広報紙「南関東防衛」 創刊号

年4回発行 編集/発行 南関東防衛局 〒231-0003 横浜市中区北仲通5-57 横浜第2合同庁舎内
(お問い合わせ) 045-211-7129